

## 【 概 要 】

平成21年度 民間住宅ローン利用者の実態調査  
【フラット35利用者編】（第3回）

## 1. 調査の概要

調査対象期間(平成21年11月～平成22年2月)に民間住宅ローンを借入した方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査(2/9～2/15)を実施し、そのうちフラット35利用者94件について集計を行ったものである。

回答数:94件

## 2. 調査結果の主なポイント

## (1) フラット35を知るきっかけは、住宅・販売事業者が第1位

- ・ フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が前回調査の23.3%から44.7%と大幅に増加し、最も影響が大きくなっている。「インターネット」は28.7%と前回調査の第1位(28.3%)から今回は2位に後退した。フラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答との比較では、「新聞記事」、「住宅情報誌」等各種メディアの影響が大きい。<p2>
- ・ フラット35の利用を決定するに際しても、「住宅・販売事業者」が37.2%と最も影響が大きく、前回調査の23.3%から大幅に増加している。次いで、「インターネット」が17.0%となっており、フラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答と比べインターネットの影響が大きい。  
<p3>

## (2) フラット35を利用した理由は、「将来の返済額を確定」

- ・ フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」したいとする回答が58.5%と最も多い。次いで「金利が低い」とする回答が34.0%となっている。「フラット35Sを利用したい」は、前回調査の18.3%から27.7%へと大幅に増加し、第3位となった。<p4>